

南麓祭を終えて思うこと

川根高等学校生徒会長 倉田明

6月5日から2日間にわたって開催された南麓祭・文化の部は、時が経つのを忘れるほど楽しく、あつという間に終わってしまいました。
今年のテーマは「響鳴」。みんなで協力することにより、それが生徒全員に伝わって協調性がつくという考え。そして来場者の皆さんの心にインパクトを残したかったからです。
今年も例年と違う方式。各学年が各階を担当しました。学年ごと、必死になつて自分たちのコンセプトを決め、何をやるのか考えていました。わたしたち本部役員は、来場者増を目標に、準備に取りかかりました。
まずはポスターを作成しました。今までと違った感じのポスターにしたいと考え、友人に依頼しました。かなりいいポスターに仕上がったと思います。駅や商店にご協力いただき、いろいろな場所に張ることができました。たくさんの方の目に触れ、たくさんの方が来場してくれました。
門の製作では、「響鳴」に合った門のデザインを考えるのが難しかったです。副会長の意見を元に、今年も鍵盤と音



さまざまなトラブルを乗り越え、充実感に満ちた南麓祭・文化の部が開催できたと語る倉田明さん。

符をイメージにした門を製作しました。試行錯誤した結果、素晴らしい門ができました。
1、2年生と協力し、入場門の制作をしてくれた本部役員には、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。
一日目は、校内でのステージ発表でした。自分が制作したオープニングムービーで南麓祭が開幕しました。生徒たちの反応をみて安心しました。今年のステージ発表は、例年通り吹奏楽の素晴らしい演奏が始まりました。昨年よりも有志発表が多く、どれも個性があつて見る人すべてを魅了するものばかりでした。
二日目は一般公開の日。どの教室もコンセプトに沿った装飾を展示しました。来場者の皆さんを見ても、川高生を見て、みんな笑顔で楽しそう。この笑顔を見ることができ、今まで頑張ってきたことが報われた気持ちです。きつと川高生の多くもそう思ったのではないのでしょうか。
その成功の影で、頑張ってくれていた人がいることを忘れてはなりません。当日、展示などを見て回ることもでき

column

中村 柚巴 ちゃん
父：哲也・母：千鶴華
H21・6・20生 地名
柚巴、お誕生日おめでとう。最近、いろいろお話するようになったね。まだまだ理解不能だけど、早く言葉を覚えてたくさん聞かせてね。柚巴のかわいい笑顔、みんな大好きだよ。

澤本 一都くん
父：和也・母：みどり
H21・6・1生 上長尾
いっと、お誕生日おめでとう。ときどき、女の子に間違えられてしまうけれど、本当は、たくましくてとてもパワフル。これからも元気に、お兄ちゃんと仲良く遊ぼうね！

みんなの笑顔が、まちを元気にするよ😊

Birthday

出生・婚姻・おくやみ
戸籍の窓辺

生活健康課 ☎(56) 2222
■戸籍欄に掲載を希望されない場合は、届出時に窓口でお伝えください。
■前々月に届け出された出生・婚姻・死亡の届出のうち、本町に住所があり本町の窓口(本庁・総合支所)で受け付けた分のみ掲載しています。

地区	氏名	享年	届出人
沢間	高橋よしゑ	93	煌
寺馬	佐渡律子	71	和彦
崎平	栗原寅一	85	清
高郷	北村實郎	72	充
瀬平	藤田計三	90	巧
久保尾	小澤政江	87	俊幸
徳山	海老名よう	87	孝之

地区	氏名	前住所
上長尾	渥美真吾	上長尾
	山田真記子	藤川

地区	氏名	性別	保護者
柳三	松下結南	女	芳樹
地名	嶋乙樹	男	伸洋
地名	石間希愛	女	功人
徳山	小林嶺	男	知宏

family registration

つれづれなるままに
編集後記
巻末でお伝えしている「広報かわねほんちよう総務大臣賞受賞の記者。日本広報協会から届いた通知を見て、震えがきたのを今でも思い出します。
本当にたくさんの方から「おめでとう」の言葉をいただきました。その言葉一つ一つから元氣と勇氣をもらっています。
ある人はこう言いました。「日本一になつても、今のあなたが、今の広報紙が変わるわけじゃない。挑戦者としての意識と勇氣を忘れずに。これからの人生、一つの目標に立ち向かう人になつてほしい。」
今の自分に何ができるのか。これからも考え続ける人でありたいと思います。
本号から高瀬美智子の「み・ち・しるべ」始めました。ご愛読ください。
小笠原聡

眼科患者さん無料送迎いたします。

ご近所から、当院まで送迎車にて無料送迎いたします。
ご予約は電話にてお願いします。
(当院に初めて受診される方もご利用いただけます)

島田眼科クリニック

住所：島田市日之出町3-9
島田駅から徒歩1分
☎0547-37-0431
診療時間：午前9時～12時、午後2時～6時
(休診日：水曜、第2・第4日曜日、祝日)